

# アクションプラン1 『家庭学習に自分から進んで取り組もう！』

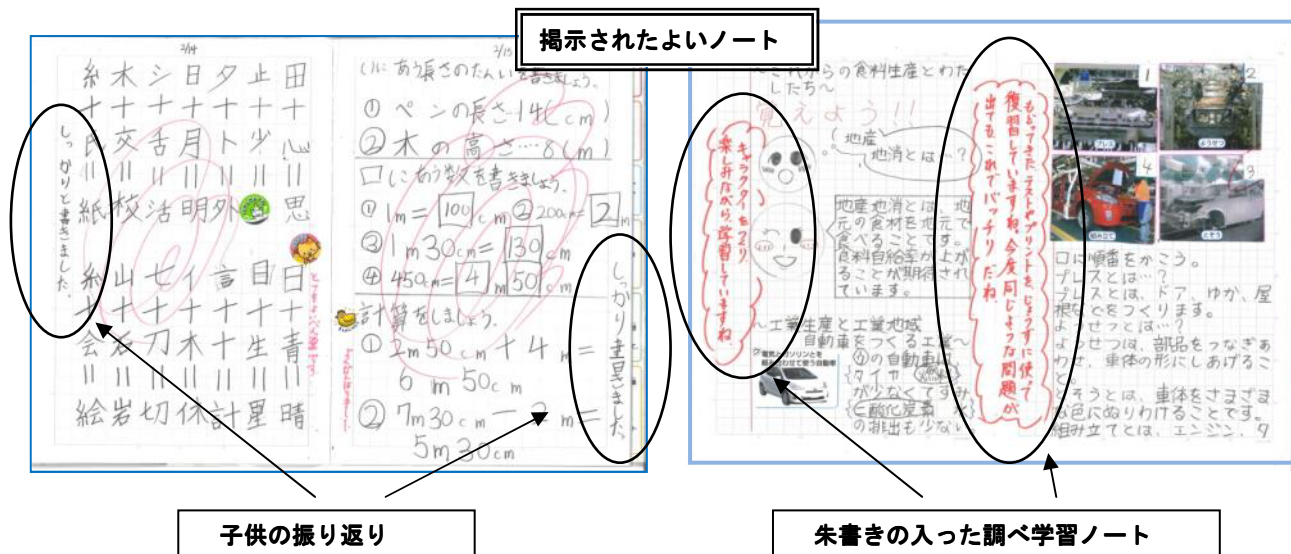
## 重点課題 家庭学習に自分から進んで取り組む子供を育てる

### 1 達成目標

- ① 各学年の目標時間（低学年30分、中学年45分、高学年60分）+  $\alpha$ 分、家庭学習に取り組むことができる子供の割合80%以上。
- ② 毎日継続して家庭学習に取り組むことができる子供の割合80%以上。

### 2 これまでの取組

学習の仕方に工夫が見られるノート、イラストや図等で書き方に工夫が見られるノート、分かりやすくまとめてあるノートを掲示した。そのことは、よりよい家庭学習の参考になり、ノートを掲示される喜びが家庭学習への意欲付けにもなった。



### 3 結果（1月末）

- ① 目標時間+  $\alpha$ 分 家庭学習に取り組むことができた（60%）
- ② 毎日、家庭学習を継続することができた（83%）

### 4 考察

- ・毎日、家庭学習に取り組む子供が増えてきた。特に、低学年は、自分の目標とする時間を立ててほとんどの子供が取り組むことができた。しかし、全体では80%には満たない。
- ・長時間取り組む子供もいるが、まったく取り組まない子供もいる。今後は家庭学習に取り組むことを苦手とする子供に、内容や学習方法について、個別に、そして継続して助言していく必要があると考える。

### 5 今後の課題

- ・家庭学習の充実には家庭の協力が必須である。学級懇談会のとき等に保護者へ家庭学習のすすめを呼びかけたり、学校での学習の様子を伝えたりするなど、家庭との連携をいかに図っていくのが一つ目の課題である。
- ・ノートの掲示が子供たちにとって有効であることが分かった。そこで、その継続とともに教師から子供たちへの言葉の掛け方や子供同士の認め合い、広め合いの場をさらに工夫していくことが二つ目の課題である。
- ・子供たちの学習意欲を向上させ、基礎的な学力を付けていくために学校の授業内容と家庭学習の内容をリンクさせる工夫をしていく必要がある。また、家庭での生活リズムを整えることやメディア視聴時間を調整すること等、生活習慣を整える上での家庭との連携が三つ目の課題である。